

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	2	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	庭園管理業務委託	
契約締結日	平成31年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社東松園	
入札経緯及び結果	平成31年3月6日公告 平成31年3月25日入札書等締切 平成31年3月26日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業者を限定するような内容とならないよう作成した。
②業務等準備期間の十分な確保	×	開札日が3月26日であり、準備期間が確保されていなかった(前回は20日間)。
③公告期間の見直し	×	公告期間は21日間を確保した(前回は23日間)。
④公告周知方法の改善	×	ホームページへの掲載及び院内掲示を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	今回、業者に聴き取ったところ、準備期間が十分確保されておらず、入札から1ヶ月程度の準備期間は欲しいとのことであった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
公告期間および準備期間について、従前以上に余裕をもったスケジュールを確保し入札を実施するとともに、参加が可能と思われる業者に、新規に参入してもらうようセンター側から早めに働きかける。		
契約監視委員会のコメント		
センターにおける改善の取組内容を注視する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
定型業務委託リストに当契約を掲載のうえ、早期の契約手続に取り組む。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	3	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	感染性廃棄物等処理業務委託	
契約締結日	令和元年6月18日	
契約の相手方の商号又は名称等	日進エコシステム(株)、(株)ナリコー、(株)クレハ環境	
入札経緯及び結果	平成31年4月19日公告 令和元年6月7日入札書等締切 令和元年6月11日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	特に、業者を限定するような内容とはしていない。
②業務等準備期間の十分な確保	×	契約締結から業務委託開始まで20日間を確保した(前回は27日間)。
③公告期間の見直し	○	公告期間は50日間を確保した(前回と同様の期間)。
④公告周知方法の改善	○	官報公告、ホームページへの掲載及び院内掲示を行った。また、複数の業者に対して入札情報の周知を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	今回、入札説明書を受領した業者が1社あったが入札辞退を示したため、当該業者から聴き取ったところ、処分先から受入を拒否されたため辞退したとのことであった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
公告期間および準備期間について、従前以上に余裕をもったスケジュールを確保し入札を実施する(準備期間は2～3か月程度を確保)とともに、参加が可能と思われる業者に、新規に参入してもらうようセンター側から早めに働きかける。		
契約監視委員会のコメント		
センターにおける改善の取組内容を注視する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
応札可能な業者情報の収集に取り組む。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人 国立がん研究センター	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	医事管理室業務委託	
契約締結日	令和元年7月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニチイ学館	
入札経緯及び結果	令和元年5月31日公告 令和元年6月27日入札書等締切 令和元年6月28日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業者を限定するような内容とならないよう作成した。
②業務等準備期間の十分な確保	×	契約締結から業務委託開始まで3か月間を確保した(前回と同様の期間)。
③公告期間の見直し	×	公告期間は28日間を確保した(前は34日間)。
④公告周知方法の改善	○	ホームページへの掲載及び院内掲示を行った。また、複数の業者に対して入札情報の周知を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	今回、入札説明書を受領した業者が1社あったが入札辞退を示したため、当該業者から聴き取ったところ、準備期間は6ヶ月程度欲しいとのことであった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
本委託業務は多数の職員を確保する必要があることから、準備期間を十分に確保(6か月程度)できるスケジュールで入札を実施する。		
契約監視委員会のコメント		
センターにおける改善の取組内容を注視する。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
準備期間(6か月程度)を確保しつつ、応札可能な業者情報を収集する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
小野 高史(監事)、増田 正志(監事)、長崎 武彦(公認会計士)、加藤 一郎(弁護士)		

(注)1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。